

役に立つ情報

— モルジブ —



CONSTANCE
HOTELS EXPERIENCE
elegance comes naturally

www.constancehotels.com

歴史

地質学的モルジブの起源

何億年もの昔、かなり幅広い範囲で、インド洋の底から火山が噴火して水面に盛り上がってきました。徐々に火山は又沈下して、広大な大海原に小さなサンゴ礁郡だけが取り残されました。これが、インド洋の不思議、モルジブ共和国の誕生となりました。

最初の原住民

モルジブの歴史の起源は時間の中に埋もれていました。考古学的にみると、最初の原住民は紀元前1500年頃に島に住み着いたといわれています。そして、伝説的物語として、

初期の探検者たちのなかで、レデインと呼ばれる人間がそうであったといわれています。

初期のモルジブ人たちは、恐らく、インド亜大陸から移住してきたヒンズー教徒か仏教徒であったと思われます。

最初の渡航者

最初のモルジブの参考資料は、2世紀になって、ギリシャの天文学者、数学者、そして地理学者の、“ Ptolemy “によって書かれました。

インド洋を横断した偉大なアラブ人旅人はペルシア系スライマン商人で、9世紀頃になります。中国人も又初期の偉大な探検家で紀元前5世紀頃には既にこの地域を旅しています。東の文明が比較的早くに探検しているのに反してヨーロッパ人はインド洋への進出はむしろもっと後になってからと思われる。

イスラムへの道しるべ

Ibn Battuta、モロッコの旅行者が14世紀にモルジブを訪問、ここで如何にしてこの国がイスラムへ溶け込んだかという興味ある言い伝えを記録しています。

Abul Barakaath, Yoosuf Al Barbary という学者がモルジブを訪問した折 “Rannamaari “ という海の悪魔が処女を生贄にさしださないと全てのものを壊してしまうと恐れられた海の悪魔の恐怖に慄いているというような時代でした。当時の王様が神聖なコーランの力で悪魔が滅びたことを知り、それ以降はコーランの教えに従ってイスラム教を崇めるよう命令しました。

植民地政策

ポルトガルの海洋、貿易業者はインド洋交易の上での利益の分配を求めました。

1517年、Kalhu Muhammad王はマーレに貿易取引事務所を設置することに関して

署名しました。しかし、次の年、この事務所が焼失したとき(マラバール族3ヶ月ほど統治されてから)、ポルトガルの大群が交易市場を設立すべく120人の男たちで上陸してきました。

1887年、モルジブは英国の保護国となり、モルジブが未だ国としての成り立ちが充分出来ていない状態である時に、英国はモルジブの擁護を確かなものにしたのです。

この英国との緊密な関係が他の国からの干渉を受けず、モルジブの平和と自由を不動のものにしたのです。

第2次世界大戦の頃、英国はその基点を北と、南の群島に置き、1957年に空軍—RAF(英国王室空軍)は Addu Atoll のGan島に基点を置き、1967年空軍は閉鎖されました。

一般的事柄

モルジブはインド洋にあり、インドの南先端、南西部に位置し、全体で289sqkm、1, 190の小さな島々を含む26のサンゴ環礁から成り立っています。

そのうち、200の島々が現実に人の住む島です。モルジブで最も大きな町は、同時に首都としての機能を持つマーレで、此処は国の人口の約3分の1を擁する町です。

現在のモルジブの人口は379, 174人で(2008年7月現在)、国の貨幣はルフィアで約12. 75ルフィアがUS\$1に該当します。モルジブ経済の最も大きな産業は

漁業、観光、そして船舶業です。

言語

モルジブの現地の言葉は、サンスクリットを基本にしたデイヴェヒで、同時に、近隣の国々、インド、アラブとアフリカの影響を強く受けた言葉です。

モルデイヴィアンスクリプトはサーナとも呼ばれ、右から左へ書く方法で、24の文字から成り立っています。16世紀ころ言語の発明があったと思われます。

交通手段

海外からの渡航者に対しての制限はありません。査証も30日以内であれば、不要です。モルジブには2つの国際空港があり、マーレ国際空港フルーレ島の上であり、首都から2キロの海を隔てた距離にあります。

国としての航空会社は無く、マーレへの就航便として、2つの方法があります。

一つは定期便、もう一つはチャーター便です。

幾つかの航空会社はあるシーズンだけ運行し、又チャーター便のリストは折々に変更がります。モルジブの島々の往来はスピードボートか、又モルジブの特徴として有名なエアータクシーが主なものとなっています。

モルジブへの旅行者の殆どが2つの水上飛行機会社を使ったサービスを利用しています。

国の各場所へ、マーレ国際空港からリゾートへ、旅行者はTrans Maldivian という会社とMaldivian Air Taxi という会社のどちらかを利用して移動します。

全ての水上飛行機は昼間の明るい時間のみでの運行となり、絵のような素晴らしいサンゴ島、サンゴ環礁、ラグーン環礁などを楽しみながらの飛行となります。

この水上飛行機は、観光、撮影、そして緊急時の対処にも利用できます。

両会社のお値段に関しては直接お電話でご確認下さい。水上飛行機の貨物運搬容量は限度があります。全ての旅客の荷物は搭乗前に計り、余り重いものは次ぎの便かスピードボートでお届けするということもあります。

アトラクション

モルジブには多くのアトラクションがあります。最もポピュラーなものとして、人が余り訪ねない孤島へボートでダイビングやシュノーケリングに、数多くのウオータースポーツを楽しむ、スパで楽しむなどがそうです。

モルジブへの訪問は水中での想像の世界を楽しむのに経験無しでは完全とは言えません。

世界で最も有数のダイビングデステイネーションとして、勿論経験豊富なダイバーからビギナーまで是非ダイビングの体験をされることをお奨めします。

全てのリゾートは潜水指導員協会(その他、全米水中指導員協会、BISAC)の適正指導員審査合格者を置いています。そして、殆どのリゾートでは、ダイビングをする前に、潜水体験経歴等をご提出願うはずで、従って、常に証明カード等をご持参になることをお奨めします。

道具類は充分備え付け、又点検済みです。又、全てのダイビングセンターではコンピューター(貸与のものがあります)を強制的に持参するよう指示しています。

あなたはモルジブの魅惑的水中を楽しむだけのダイバーである必要はありません。

シュノーケル、マスクとフィンあなたの休暇体験を充実させる為のパスポートであり、

水中を泳ぐ種々の魚、亀、好奇心をそそる海に潜むものとの出会いの場となるでしょう。